令和4年度行政評価 事務事業評価シート（令和3年度実績）

事務事業コード	030503010	予算コード	01026900	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点
事務事業名	母子保健健康管理事業			正規職員数	1.72	国庫支出金	647	有効性	B
担当課	健康推進課			嘱託職員数	1.1	府支出金	0		
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	1.31	市債	0	効率性	D
	■法律・政令・省令			歳出（千円）		その他	0		
	母子保健法			人件費総額	18,793	一般財源	20,561	妥当性	B
						減価償却費	0		
						事業費	2,415	受益者負担	該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			21,208	緊急性	B
実施手法	市直営			市民1人当りコスト（円）			215		
対象				活動指標		R3実績		公的関与	B
特定の市民		対象数	7,786人	妊婦教室（ファミリー教室）			1.0		
0歳から5歳児と妊婦及び離乳食講習会、各教室対象保護者				離乳食講習会			11.0	実施主体・委託化	B
事業の内容				歯科保健教室			8.0		
母子保健健康管理事業として、妊婦教室、離乳食講習会、妊産婦及び新生児・低体重出生児訪問、歯科保健教室、思春期ふれあい体験学習への講師派遣を実施している。産後2週間サポート事業は、産婦健診（母子健康診査事業）に変更となった。				育児教室			29.0	他の事務事業との関連	A
				成果指標		R3実績		透明性	A
				妊婦（ファミリー）教室受講者数			14.0		
				離乳食講習会受講者数			61.0	財政健全化計画	該当なし
				歯科保健教室受講者数			89.0		
				育児教室受講者数			759.0	財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標		R3実績		改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				受講者１人あたりのコスト			27,942.0		
母子保健の推進									

一次評価	B
各種教室や相談会を開催することにより、育児サポートを実施しており、児の発育状態の確認や虐待の発見の機会にもなる。社会環境が複雑化する中で、育児世帯にとっては、本事業は重要な役割を果たしており、職員の関わりが増えている。新型コロナウイルス感染症の影響などもあるが、今後も受講者数の更なる増加及び質の向上を目指す対策を講じなければならない。	

事務事業実施内容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ファミリー教室、離乳食講習会、歯科保健教室、とっとこくらぶなど各種教室については、計画を変更し縮小や個別実施にするなど工夫して実施した。また、コロナウイルス感染症の影響を受けたが、保育所（園）や福祉関係団体が実施する事業や行事に参加し、保健についての情報提供や育児相談を行なった。